

水の都を活かし人々の心根をやさしくする地域活性化

平成OSAKA天の川伝説実行委員会

会長 土居 年樹 事務局長 原野 芳弘 事務局次長 ○道下 弘子

1. 活動方針・目的

〈川からのにぎわいづくり・元気づくり〉

- (1) 水都大阪の川面そのものを活用して新たな夏の観光資源とすることをめざす。
- (2) 実施時期は、天神祭本祭の始まりとされる「星愛七夕まつり」と期を一にした七夕とし、広く人々の心に愛と希望の光を灯すことをめざす。
- (3) ふだん見られることのない川面を見つめる機会を提供することによって、水資源、水環境に対する感謝の気持ちを醸成することをめざす。

2. 活動内容

一般市民に、LEDを光源とする直径約10cmの光る玉「いのり星」の放流権をご購入いただき、七夕の夜に大川に放流し天の川を出現させる。

【実績】2009第0回 2万個を放流

2010第1回 5万個を放流予定 ※人々に定着させ、毎年実施する予定

3. 他の活動団体の参考となる事例

- 「いのり星」の放流・回収については河川管理者の一時占用許可を得なければならないが、河川利用者の協力があると円滑に進めることができる。
- 放流権を購入した参加者は自ら放流したいという希望を持つため、参加者放流が可能な運営が求められる。
- 回収は迅速に実施し、放流域以外に流出した場合はすみやかに回収する、あるいはしていただけるよう事前調整をしておくことが必要である。

4. 今後の課題等

- 規模が必要なイベントで実施費用が大きな金額になってしまうため、幅広く多数の市民から参加を得なければならない。また、多くの参加を得るためには、運営費用が発生しない放流権の販売所が多数必要である。これらを多様な機関との連携によって克服して行かねばならない。
- 同等の内容を実施したいという地域づくり団体からの要請が多く、これらへの対応を積極的に進めていきたい。

新しい夏の風物詩へ

平成OSAKA天の川伝説

大阪固有の魅力を創出する可能性から次代へと育むプロジェクトへ

平成OSAKA天の川伝説実行委員会
事務局 道下 弘子

平成OSAKA天の川伝説… やることになった経緯



水の都で、人と川への愛と希望をカタチにしたい…

「川」をみつめることからアイデアが生まれた。
つまり、市域の約10%を占める「川の水辺」を活かすことこそが
大阪の都市景観づくりに最も相応しいと考え
川そのものを光でうめつくす「天の川」へと発想が繋がった。

一方、大阪には世界に誇る水の祭典「天神祭」があり、その地元・天満は
「天（星）が満ちる地」が名前の由来。

大阪が独自に持つ、固有資産（地勢・歴史・文化）を活かした
「地域の魅力を創出」するには大阪・天満こそが「平成OSAKA天の川伝説」を
具現化する最適の地であると考えた。

平成OSAKA天の川伝説2009 開催実施概要

コンセプト

- 水都大阪の川面そのものを活用して新たな夏の観光資源とすることを目指す。
- 実施時期は、天神祭本祭の始まり「星愛七夕まつり」と期を一にし、広く人々の心に愛と希望の光を灯すことを目指す。
- ふだん見られることのない川面を見つめる機会を提供することによって水資源、水環境に対する感謝の気持ちを醸成することを目指す。

実施概要

- 一般市民に、LEDを光源とする直径約7.5cmの光る玉「いのり星」の放流権をご購入いただき七夕の夜に20,000個を大川に放流し天の川を実現。
*参加者が10,000人に達しない場合も20,000個放流
*本年は2010年からの本格実施に向けたプレイベントと位置づけ

主催

- 平成OSAKA天の川伝説実行委員会
構成：天神橋筋商店連合会
星愛七夕まつり実行委員会
大阪シテイクルーズ推進協議会
NPO大阪水上安全協会

協力

- 国土交通省近畿地方整備局 大阪府 大阪市
大阪商工会議所 光のまちづくり企画推進委員会
京阪電気鉄道株式会社 毎日放送 FM802

実施日時・場所

- 平成21年7月7日（火） 18:45～21:00
- 淀川水系大川 天満橋～中之島公園剣先

参加受付窓口

- 特設受付 *3箇所
(京阪シティモール前 天三おかげ館 天満天神繁昌亭)
- 郵便振り込みでのお申し込み

平成OSAKA天の川伝説2009 開催結果

来場者

約8,000人

参加者 *6月5日～7月7日

約3,300人

短冊総数 *期間中、事務局に届けられた短冊の総数

3,455通

スタッフ総数 *延べ人数

271人 ■ スタッフ : 201名
■ ボランティア : 70名

メディア掲載数

44媒体

▼毎日新聞 7/8 朝刊1面



▼産経新聞 7/8 朝刊1面



2009年開催を経て改めて気付かされた「平成OSAKA天の川伝説」がもたらす、大阪への可能性

平成OSAKA天の川伝説の意義と可能性

水都大阪が
有する
地域魅力の創出

大阪の活力へと
つなげる
集客推進装置

地域社会への
愛着醸成

人と人、人と社会
のつながりの
再確認

環境意識の
高揚

新しい“大阪町衆の祭り”を次代へと育むプロジェクト

普段忘れがちな大切な人との縁。

七夕という一年に一度現れる“天の川”に誰かのためにいのる。

その思いと願いを自身の手でしたため相手に伝える。

そんな大阪固有の魅力的な文化風習を創出できる可能性。

平成OSAKA天の川伝説2010 開催概要（仮）

開催名称

～100万人の願いをかたちに～

平成OSAKA天の川伝説

*大阪城サマーフェスティバルキックオフイベントとして位置づけ

開催日時・場所・規模

- 平成22年7月7日（水） 18:30～21:30
- 大川・天満橋周辺
- LED「いのり星」5万個

主催

現在調整中（3/12現在）

昨年：平成OSAKA天の川伝説実行委員会

協力

現在調整中（3/12現在）

平成OSAKA天の川伝説2010 開催概要（仮）

参加受付チャネル *予定

■ 天の川サポート企業による参加受付

大阪シティクルーズ推進協議会会員企業 八軒家浜 OAP OBP
大阪商工会議所会員企業 天神橋筋商店街 市内ホテル 商業施設
劇場及び文化施設 公共交通機関 などを予定

■ WEBによる参加受付

平成OSAKA天の川伝説ホームページより
PC・携帯電話、両対応

■ 百人応援団による参加受付

「平成OSAKA天の川伝説」の趣旨に賛同した個人による参加受付の応援
(1人20口以上)

次代へと育むプロジェクト -新しい都市像の提案-



オール大阪で創り上げる
新しい夏の風物詩

平成OSAKA天の川伝説

お問合せは

平成OSAKA天の川伝説実行委員会事務局

E-mail : info@inoriboshi.jp

Tel : 06-6448-2727